

2年 家庭科

社会生活をしやすいするための工夫(バリアフリーとユニバーサルデザイン)について考えてみましょう

バリアフリーとは、障がい者や高齢者だけでなく、社会生活をしやすいするために建物や移動のバリア(障壁)を除くこと、
ユニバーサルデザインとは、外国人や男女も含め、すべての人が暮らしやすいようにすること、と教科書には書かれています。(教科書 P62)

身近なバリアフリー、ユニバーサルデザインを見つけよう

例えば……

バリアフリー

○階段近くのスロープ

車いすでもあがれるね



○障がい者用駐車場



車いす用に広くなっているね
車いすのマークですぐわかるね

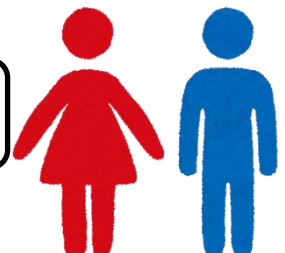
他にも、点字ブロック、手すり、エレベーターのスイッチなど



ユニバーサルデザイン

○トイレのマーク

外国人が見てもトイレとわかるよね



○シャンプーボトルのキザキザ

シャンプーにだけ側面にギザギザがあるよ。
何故あるのか考えてみよう



○紙幣 — 万円, 五千円, 千円お札によって大きさが違うよ



他にも、信号機、ピクトグラム、自動販売機なども分かりやすい工夫がされているよ。

ピクトグラムとは・・・

「絵文字」「絵単語」などと呼ばれ、何らかの
情報や注意を一目で分かるように表示した
視覚記号（サイン）の一つである



他にも身近なところにたくさん表示されているよ。探してみよう